

目次

□巻頭言 災害と建設機械……………増岡 康治/1  
 建設機械の生産・輸出の動向……………宝寺 偉博/3  
 船明発電所工事の概要報告……………遠山 奈須男/9  
 フィルタイプダム工事における土量の電算管理……………堀内 敏行/17  
 金 子 哲也  
 TK式アースアンカー工法について……………藤井 俊祐/22  
 田 祐宏  
 ライム処理工法について……………金 子 完朗/30  
 岡 子 昭民  
 新しいPC橋梁架設工法について……………佐藤 浩一/34  
 □随想 アフターサービス雑感……………米島 文作/38  
 ブラジル鉄道計画に参画して……………上原 要三郎/42

グラビア——ブラジルの建設現場と風景

欧州建設機械視察報告 第一報……………加藤 三重次/53

□建設機械の現状

4. せん孔機械およびトンネル掘進機

4.1 せん孔機械

4.1.1 ボーリングマシン……………桜 沢 昇/57

4.1.2 さく岩機その他……………桜 沢 昇/59

4.2 トンネル掘進用機械……………小竹 秀雄/61

5. 骨材生産機械……………塚原 重美/66

6. コンクリート機械

6.1 コンクリートミキサ……………成田 英一/73

6.2 トラックミキサ……………篠川 之俊/75

6.3 コンクリートポンプおよびポンプ車……………三浦 達男/77

□部会研究報告——破壊・処理・再利用法委員会報告

1. コンクリート構造物取りこわし方法の実態調査……………/79

2. コンクリート破砕物の再利用……………/82

3. 都市ゴミ焼却残灰の固化処理……………/83

4. ヘドロの処理・処分について……………/85

□建設機械化研究所抄報 <No. 115>

331. 東洋運搬機 STD 30 型車輪式トラクタショベル……………/88

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移

……………調査部会/90

行季一覧……………/91

編集後記……………(塚原・水野)/92

◀表紙写真説明▶

日立泥上掘削機

MA 100 U

日立建機株式会社

近年、土地の有効利用が叫ばれ、大規模な埋立、干拓工事、また、沼地、湿地での作業が増加してきた。写真は超湿地ブルドーザ等の機械でも立入ることのできないヘドロ上で掘削作業をする日立泥上掘削機 MA 100 U である。本機は陸上はもちろん、ヘドロ上、水上でも走行可能であり、全油圧式のため作業能率、操作性が良好で、分解、組立も短時間でできる。なお、フロントアタッチメントとしては写真のクラムシエルのほか、クレーン(つり上げ荷重 2.9t)、ドラダライン(バケット容量 0.4 m<sup>3</sup>)が用意されている。

<MA 100 U クラムシエル仕様>

バケット容量……………	0.4 m <sup>3</sup>
ブーム長さ……………	13 m
エンジン出力……………	125 PS
接地圧……………	0.121 kg/cm <sup>2</sup>
全装備重量……………	17.0 t